

東日本で  
初開催

《弘前市誕生 130 周年記念》特別企画展

光ミュージアム

近現代日本画の軌跡

2019.9.21(土) - 11.4(月)

- 【主催】近現代日本画展実行委員会（東奥日報社、弘前市文化団体協議会、アップルウェーブ株式会社、公益社団法人弘前観光コンベンション協会、弘前市弘前市立博物館）
- 【後援】東奥日報文化財団、RAB 青森放送、株式会社青森テレビ、青森朝日放送株式会社
- 【特別協力】一般財団法人光ミュージアム
- 【企画協力】株式会社アートワン
- 【開館時間】9：30～16：30
- 【休館日】開催期間中、休館日無し
- 【観覧料】一般 800 円（600 円） / 高・大学生 400 円（300 円）  
小・中学生 200 円（100 円）  
※（ ）内は 20 名以上の団体料金  
※65 歳以上の弘前市民、弘前市内の小中学生・留学生、ひろさき多子家族応援パスポートをご持参の方、障がいのある方は無料。

※本特別企画展開催中は「高岡の森弘前藩歴史館」との共通券は使用できません。

※本特別企画展開催中は常設展「ひろさきの歴史と文化」の展示はございません。



弘前市立博物館

青森県弘前市大字下白銀町 1-6 弘前公園内 TEL:0172-35-0700  
URL <http://www.city.hirosaki.aomori.jp/hakubutsukan/>

横山大観 「不二霊峰」(部分) 昭和 11 年頃、上村松園 「三美人之図」(部分) 明治 41 年





工藤甲人「たゆとう霧」昭和52年頃

# 光ミュージアムの名品、東日本初公開

岐阜県高山市に所在する光ミュージアム。絵画、書、工芸など多岐に渡るコレクションの中から、明治初期に活躍した橋本雅邦、横山大観、美人画の上村松園、鏗木清方、戦後作家では東山魁夷、加山又造ら近現代を代表する日本画家の作品約70点を展示します。

光ミュージアムの誇る近現代日本画コレクションをまとまった形でご紹介する、東日本初の展覧会です。



富田溪仙「麒麟」大正14年



松岡映丘「住吉ものがたり」大正2年頃



鏗木清方「権八小紫」昭和初期

©Akio Nemoto 2019/JAA1900125



加山又造「夜桜」昭和57年



【アクセス】東北新幹線「新青森駅」乗換 奥羽本線「弘前駅」下車 弘前公園まで路線バスで約15分

## 光ミュージアム 近現代日本画の軌跡

2019.9.21(土)  
- 11.4(月)

### 期間中イベント情報

【開会式】9月21日(土) 9:30～

【内覧会】開会式後 当館学芸員による作品解説

【ギャラリートーク】会期中の毎週日曜日 14:00～

※当館学芸員による作品解説  
※聴講無料。但し、博物館観覧料が必要です。

【親子鑑賞会作品解説】会期中の毎週土曜 11:00～ (9/21は内覧会のため親子鑑賞会はありません。)

※当館学芸員による子ども向け作品解説